

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	<<理念の共有と実践>> ・ 事業所及び各ユニットの理念を掲示しても日々意識して就業する体制が出来ていない。	・ 理念を実践して就業するようにする。	・ 申し送り終了時各自唱和し、実践出来るようにこころがける	6ヶ月
2	9	<<思いや意向の把握>> ・ カンファレンスに御家族や本人の意向が記載されていない。	・ 利用者様の意向や思いを把握し、共有する。	・ プラン作成時又は、モニタリング時に御家族や本人と十分に話し合い、御家族や本人の思いを職員に伝えて統一したケアに当たるようにする。	12ヶ月
3	13	<<職員を育てる取り組み>> ・ スタッフ間で認知症についての知識・理解が足りず接遇にバラツキがあり、入居者さまが不穏になる事がある。	・ それぞれの認知症の症状とケアの方法の知識を身につけ、サービスの向上が図れるようにする。	・ 研修会に積極的に参加し、スタッフのスキルアップにつなげる。 ・ スタッフ間で、注意しあい、指導出来る関係作りを図る。	6ヶ月
4	47	<<服薬支援>> ・ 服薬管理が上手く出来ていない事があり、飲ませ忘れやチェック漏れ、薬の変更になった際の確認が不十分で、ミスが目立つ。	・ 投薬ミスをなくすようにする。	・ 夜勤に入った時に、当日の受診記録を読み、確認する。 ・ 誰がどこへ受診し、どんな薬を服用しているのか一覧表を作り服薬ミスを防止する。	3ヶ月
5	49	<<日常的な外出支援>> ・ 必ずしも入居者様1人ひとりの要望に沿った外出が出来ていない。	・ 天気を見計らって、天気の良い日は入居者様の要望を確認し、外出出来るようにする。	・ 季節の変化を感じられるように、散歩やドライブだけでなくお盆やお彼岸等のお墓参り・お正月の帰省等ご家族の都合や要望の調整を図りながら実施下切のように支援する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。